

統一論題セッション報告要約フォーマット

氏名(Name)

森樹男

所属・職(Affiliation)

弘前大学人文社会科学部

報告タイトル(Title)

地域におけるインバウンド観光の展開～青森県の事例から考える～

キーワード(5 keywords)

インバウンド向け観光コンテンツ, 青森県観光戦略, 地吹雪体験ツアー, 手ぶらで観桜会, SHIROFES

要約(Abstract)

コロナ禍が落ち着き、日本のインバウンド観光が回復してきているという。しかしながら、2月に観光庁が発表した東北6県の宿泊旅行統計調査(速報値)によると、2023年の延べ宿泊者数は前年比13%増の3748万9420人泊であり、これは前年比13.2%となっているものの全国平均31.6%を大きく下回っているという。このことから、東北地方におけるインバウンド観光の回復が遅れているといわれている。ただ、コロナ禍前においても東北のインバウンド観光客は低い傾向にあったことから、東方地方においてはいかにインバウンド観光を引きつけるかが、長年の課題となっていた。

本報告では2024年3月に発表された青森県観光戦略をもとに、青森県のインバウンド観光の現状や課題を整理した上で、地域における特徴的な観光コンテンツの事例(①地吹雪ツアー, ②手ぶらで観桜会, ③SHIROFES)をもとに、地方におけるインバウンド観光コンテンツのあり方について論じていきたい。